

危険予知訓練[新KYT]

～危険性の情報を共有することで災害の発生を未然に防止します～

【内 容】

職場の作業者が潜在危機を先取りする技能を身につけ、労働災害防止に関する感受性を高め、行動する前に考えること、例えば、始業時や動作時に指差呼称を行い危険性の再確認をし、さらに安全性を高め行動に移る、話し合うことを習慣づけるなど、リスクヘッジを最大限回避、低減し、事故災害防止に役立てます。

【講 師】

労働安全衛生コンサルタント 石田 修 氏

技術系サラリーマンとして作業環境測定に従事し、昭和 60 年労働衛生コンサルタント、昭和 62 年労働安全コンサルタントの国家試験に合格。以後、愛知労働局労災防止員、愛知県産業労働部安全衛生相談員等の公職に就き、県内中小企業の安全衛生診断とこれに基づく改善指導を行う一方、安全衛生教育、危険予知訓練や職長教育などを歴任。

- ・平成 30 年厚生労働大臣功績賞を受賞
- ・(一社)日本労働安全衛生コンサルタント会第 13 代会長
- ・国立大学法人名古屋工業大学実務型教員

【対 象】

作業現場・製造現場の作業者、リーダー・サブリーダー、責任者など

【日時・会場】

令和 7 年 10 月 7 日(㊥) 9:30～16:30

愛知県職業訓練会館

【カリキュラム】

- | |
|---------------|
| 1 ブレインストーミング法 |
| 2 指差呼称 |
| 3 4 ラウンド法の進め方 |
| 4 ビデオ及び実習 |
| 5 リーダーの心得 |
| 6 ワンポイント KYT |
| 7 三角 KYT |

【受講料(資料代含む)】

16,000 円(消費税 10%込み)

【定 員】

10 名程度 ※4 名以上で開催